

第1058号 令和4年7月8日(金曜日) 埼玉よみうり



13

高校生が制作  
色鮮やか  
シャッターアート  
(嵐山町)

嵐山消防団車庫(嵐山町鎌形245・2)のシャッターに描かれた嵐山町マスコットキャラクター「むさし嵐丸」が炎に向かつて放水するカラフルな絵が、通りかかるとの目を楽ませている。



完成したシャッターアートの前で記念撮影する2年生部員と消防団員ら

このシャッターアートを描いたのは、町内の大妻嵐山高校美術部の2年生7人。消防団のイメージアップを図り、団員確保につなげたいと、町から打診され、4月下旬から取り組み始めた。シャッターに油性サインペンで下描き後、ペンキを丁寧に塗り重ねていった。6月18日、およそ2か月かけ、縦3m、横3.5mの大作を仕上げた。

当日は、駆け付けた消防団員らから感謝の花束が贈呈された。デザインを考案した栗原未来さんは「町の雰囲気をもっと明るくできるようなデザインを考えました。笑顔を見せた。同部顧問の笹岡寿美子教諭は「いつもと違う大きさで、シャッターに描くので心配はありましたが、チームワーク良く出来ました。地域の役に立ち、ずっと残るものなので、取り組む機会を与えてもらえて良かった」と話した。

「いつもと違う大きさで、シャッターに描くので心配はありましたが、チームワーク良く出来ました。地域の役に立ち、ずっと残るものなので、取り組む機会を与えてもらえて良かった」と話した。



真剣な表情で取り組む部員たち